

履修の方法とモデル

博士前期課程では、入学試験で選択した専攻分野の領域を中心に履修し、共通科目「看護管理・政策論」を必ず履修しなければなりません。入学時に決定した研究指導教員から研究指導を受けます。研究題目の設定および研究方法等について、研究倫理審査を受ける前に「合同研究セミナー」で研究構想を発表して幅広い観点から検討します。原則として修了予定年度の12月第3月曜日までに修士論文を提出し、審査および最終試験を受けます。専門看護師*を目指す場合には、高度実践看護師教育課程で認定された共通科目を選択し、実践看護学分野の各領域の専門看護実習を履修しなければなりません(下図参照)。また、地域看護管理学分野を選択した場合、一定の要件を満たせば認定看護管理者**の受審資格を得ることができます。(*、**についてはP.10に説明)

【履修モデル】 標準

【履修モデル】 専門看護師を目指す場合

共通科目

「看護管理・政策論」(2単位)は必修科目

「病態生理学特論」(2単位)
「フィジカルアセスメント特論」(2単位)
「臨床薬理学特論」(2単位)
「看護実践研究論」(2単位)
「コンサルテーション論」(2単位)
「看護倫理」(2単位)
「看護継続教育論」(2単位)
「地域医療論」(2単位)
「地域調査法」(2単位)
「Academic Writing & Oral Presentation」(1単位)

共通科目として8単位以上

「病態生理学特論」(2単位)
「フィジカルアセスメント特論」(2単位)
「臨床薬理学特論」(2単位) } 必修

「看護実践研究論」*(2単位)
「コンサルテーション論」*(2単位)
「看護倫理」*(2単位)
「看護継続教育論」*(2単位) } *印の4科目から3科目選択

「地域医療論」(2単位)
「地域調査法」(2単位)
「Academic Writing & Oral Presentation」(1単位)

共通科目として14単位以上

各領域(実践看護学分野もしくは、地域看護管理学分野)の講義・演習科目より**12単位以上**選択

各領域の特別演習(4単位)
各領域の特別研究(6単位)

専門科目として22単位以上

各領域(実践看護学分野)の講義・演習科目より**14単位以上**選択

各領域の専門看護実習(10単位)
各領域の課題研究(4単位)

専門科目として28単位以上

合計30単位以上

修士論文の提出

合計42単位以上

教員組織(専任教員)

受験希望者は、希望する領域の研究指導教員(★/★★印)の事前面接を受ける必要があります。

実践看護学分野

小児看護学領域

田村 敦子 准教授

母性看護学領域

川野 亜津子 教授★ 角川 志穂 教授★

精神看護学領域

永井 優子 教授★ 半澤 節子 教授★

がん看護学領域

小原 泉 教授★ 内堀 真弓 教授★

石井 容子 准教授

★実践看護学特別研究指導教員

地域看護管理学分野

老年看護管理学領域

浜端 賢次 教授★★ 川上 勝 准教授

地域看護管理学領域

春山 早苗 教授★★ 塚本 友栄 教授★★

島田 裕子 准教授

診療看護技術管理学領域

村上 礼子 教授★★ 長谷川 直人 教授★★

古島 幸江 准教授 八木 街子 准教授

★★地域看護管理学特別研究指導教員

共通科目

大塚 公一郎 教授 倉科 智行 教授

佐藤 幹代 准教授 関山 友子 准教授

鹿野 浩子 講師

●各教員の業績等はホームページをご参照ください。